

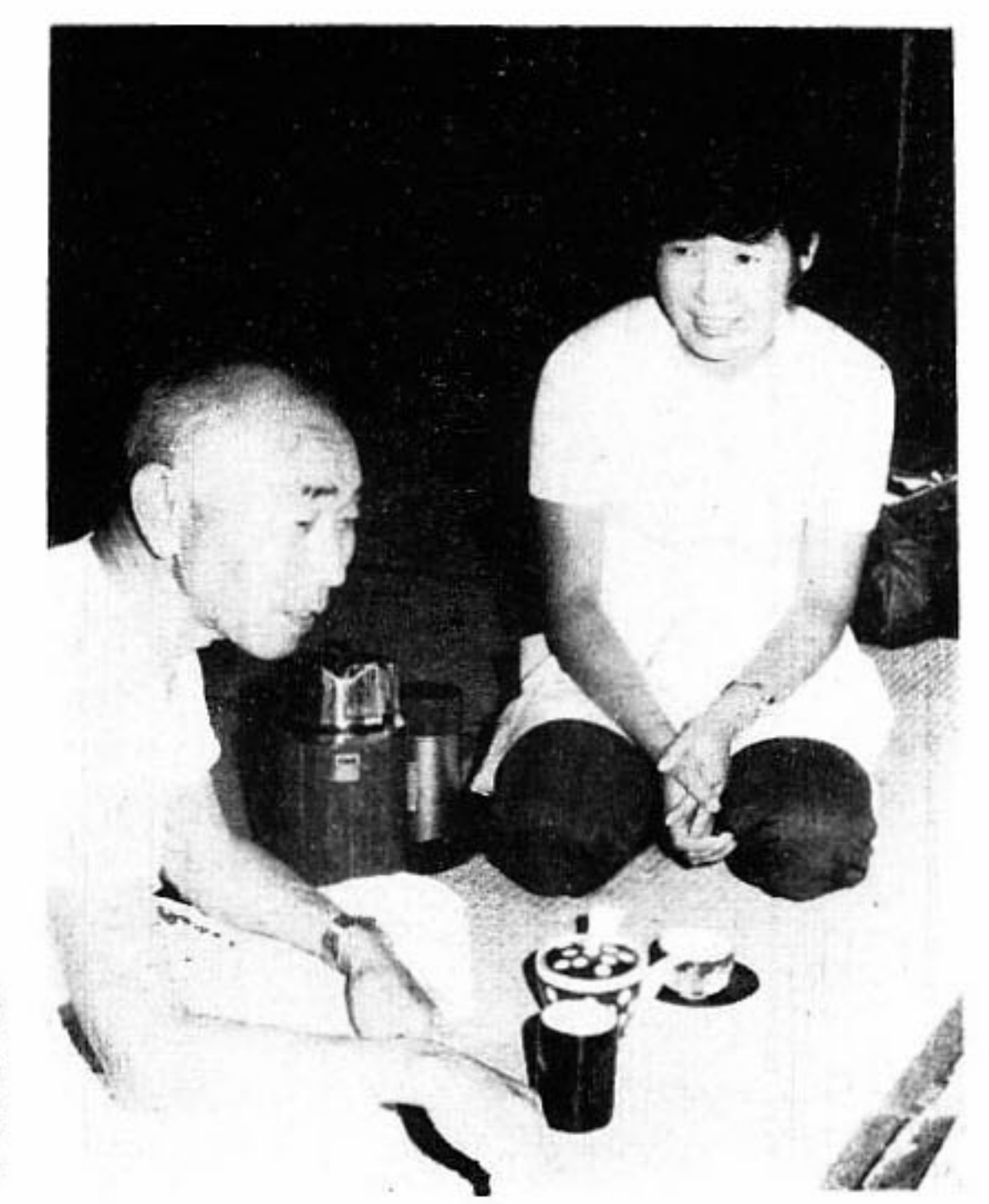
お年寄りにいたわりの手を

9月は老人福祉月間

九月は、多年にわたり社会の進展に寄与されて来た老人たちに、国民すべてが「感謝と敬愛」の心を表す敬老の月であり、同十五日には国民の祝日「敬老の日」となっています。

この日を中心に全国各地で色々な敬老行事が予定されており、本町でも敬老会が催されることになっています。

今号では、本町の大きな行政目標の一つであり年々クローズアップされている老人福祉対策の一環として、一人暮らしの老人や寝たきり老人十六世帯の世話を担当している町老人家庭奉仕員（ヘルパー）の活動ぶりを写真を中心に特集してみたい。これを契機に老人問題に町民みんなが関心を持ち、お年寄りたちに幸せの手を差し伸べることにしたいものです。



▲ 世話好きでこの道を選んだという大日向幸子さん。明るい笑顔を絶やさずに行う掃除や洗たくの奉仕が喜ばれ、そのあとの語らいは健康状態から昔の思い出まで際限なく続く（蔵新田で）

高令人口 将来20%にも

対応策が大きな課題に

計画出 高令者社会への対応策が行政上の大きな課題になって来ている。一億一千万人と見られる総人口の二〇％以上を、それぞれ程度の差こそあれ身体上あるいは精神上にハンディキャップを持つ六十歳以上の高令人口が占める現実を考えると、高令者社会に対する施策展開の必要性が自ずと理解されて来ます。

本町の場合は現在十五・八割を占め、こうした傾向は今後さらに強まり三十年後の昭和八十年には二〇％を超すものと見られています。

不安定な老人生活

わが国人口構造のこうした急激な変化（高令化現象）は老人福祉対策が進み、長寿者が多いと言われる先進北欧諸国でさえも、いまだかつて例を見ないことだと言われている。それだけにその対応策に難かしきものとも見られる。



▲ 困窮な状況にあり、勢い「生きがいのある老後」への創意工夫、選択を老人自身に委ねているのが現状と言えます。

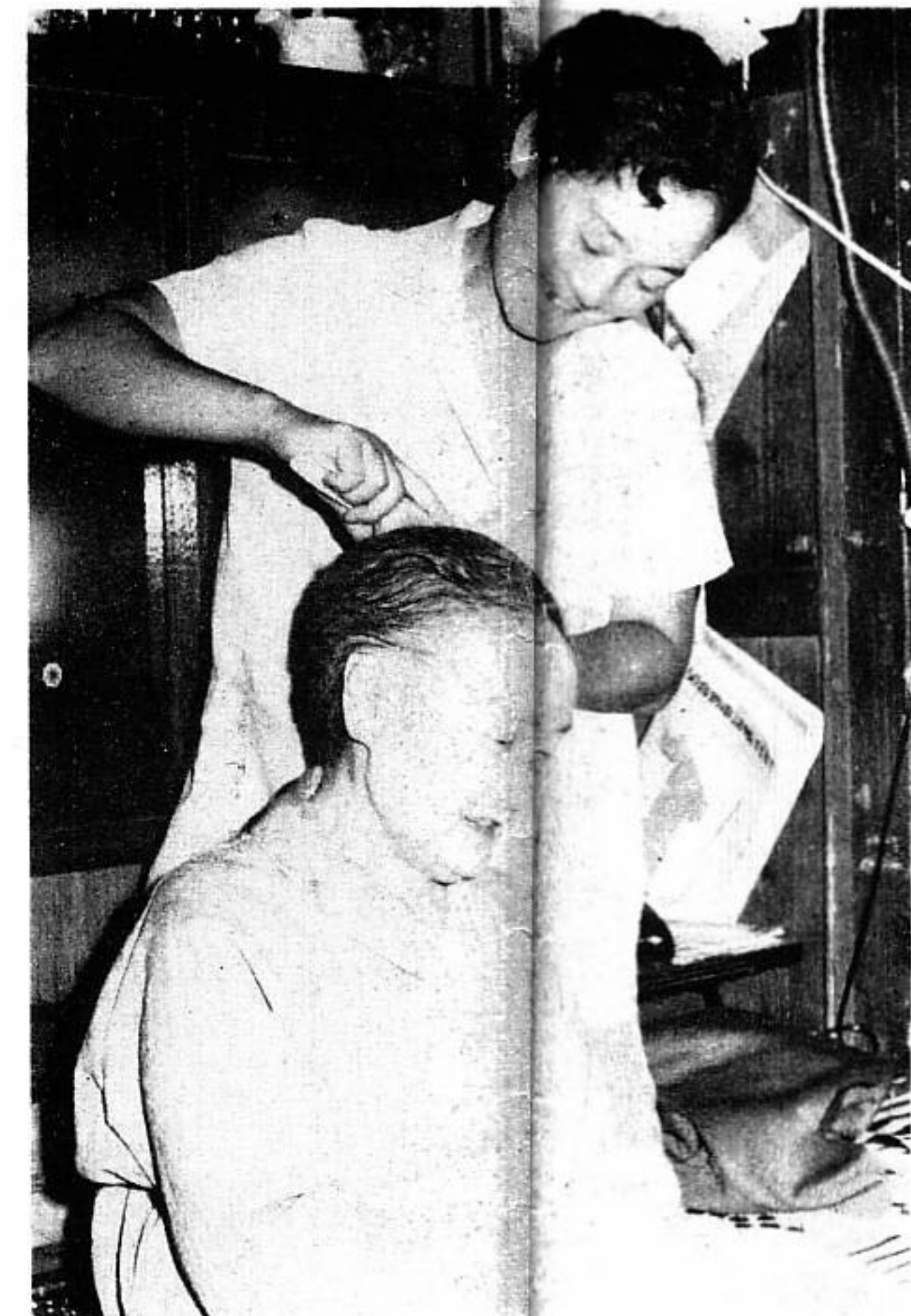
10月1日 国勢調査実施

大正9年第1回以来12回目

十月一日 行政資料としてだけでなく、道庁や市町村の行政資料として広く利用されます。

この調査は国内に住んでいるすべての人に申告してもらったことになっており、九月二十四日から同三十日までの間に調査員が全世帯に対して調査票を配布して記入をお願いし、十月一日から五日までの間に回収することになっています。

本町の人口は昭和三十年の九千七百四十八人をピークに、以来五十年は八千二百九十九人、四十年は六千九百四十八人と調査のたびに減少してきており、今回の調査では六千三百人合になるのではないかと見られています。



▲ 日々新たな気持ちでお年寄りに接しているという小松サダミさん。世間話に花をさせながらツマを切ってあげたり顔を洗ってやるなど、細やかな思いやりの奉仕がとて喜ばれる。（蔵新田で）

81歳という高令にもめげず勤ける大日向さん。訪問先のお仕事にうち込む健康なお年寄りに、真実な人間の生き方を学ぶ思いという大日向さん。（宇戸坂で）

のぞまれる福祉充実

こうした複雑な社会環境をのぞき出す必要があり、勢い「生きがいのある老後」への創意工夫、選択を老人自身に委ねているのが現状と言えます。

蔵地区モデルコミュニティに

近隣社会の協力関係確立

蔵地区が七月七日付で県モデルコミュニティ地区に設定されました。

部落や地区を最小単位に住民が助け合い、まとまりを見せ、また連帯感や共済意識は急激な都市化の進展によって次第に崩壊し、住民意識や地域社会が個人中心に移行しつつあることに大きな反省が加えられているようになりました。

こうした事態を重視した県では、旧来の部落内のまとまりや和を深め、新しい、形の地域協力関係を造り出すこと（豊かな近隣社会の創造）をねらいに昭和四十七年からコミュニティの設定を進めて来ているもので、本町蔵地区を含む今回の設定で県内の大半の市町村に行きわたらせたとされています。

伝統の獅子舞「復活」

大火以来20余年ぶり

昭和二十九年の大塚大火で衣装や小道具を焼失し、以来中断されていた大塚部落の伝統行事「獅子舞」が、若者たちの熱意で二十数年ぶりに復活。八月十三日、新装束で部落民に披露されました。

同部落に伝わる獅子舞は、明治初期からあるといわれますが、昭和二十九年五月の大火で衣装や小道具を焼失したため中断され、近年その復活が強くのぞまれていたもので、今回の復活に中心となっていたのは、大塚大火当時、幼少年期にあった三十代の人たちが、自分たちの幼い日



▲ 昔時のままに笛、カネ、大鼓で各戸を巡回する獅子舞。地区のものは三拍子で独特なものです。お年寄りの意味が、お年寄りの家「朋楽荘」に長寿のシンボルともされる夫婦の額（横60センチ、縦100センチ）を寄附せられ、同荘を利用する老人たちが喜ばせています。

慶弔だより

7月26日～8月25日

○誕生 おめでと

小野千賀子 須郷田金蔵長女
横山美恵子 黒淵 均 二女

○お悔み申し上げます

遠藤キョ 小倉 80歳

東田利町報

№ 226 の② 昭和50年(1975)9月1日

発行 秋田県東田利町役場 印刷 K K本間印刷所

毎月1日発行(1部20円)昭和42年7月21日第3種郵便物認可

50.8.7豪雨災害

雨量280ミ、被害額7億円台に

水害規模22年に匹敵

直ちに「対策本部設置」



被害総額7億円を超すことになった洪水、堤防が決壊し水田は泥海と化した(新田地内)

六日未明に降り始めた雷雨は三時間で六九ミリに達し、午前七時で一〇〇ミリを超す豪雨となり、午後には青空がのぞくまで回復、湯水のため河川も警戒水位に達せず、当日はめくみの雨とも見られるほどでした。

ところが、小森状態に入ってから十二時間後の七日午前零時過ぎから再び激しい雷雨となり午前六時過ぎまでに通算二八〇ミリを記録、恵みの雨は一転して町内随所で大きな被害を発生させました。

町では災害の発生と同時に役場内に助役を本部長とする水害対策本部を設置、被害の拡大防止と情報の把握など緊急事態に対処しました。



国道は高沢、蔵、畑村地内で冠水、一時交通が不能となった。写真は国道上を川のように流れる濁流(蔵地内で)

勇気づけた応急対策

被災世帯に見舞金も

災害発生と同時に設置された対策本部の各分野におけるすばやい決断と応急対策は、被害世帯に大きな勇気を与えられました。



減水と同時に町防疫班が出勤、2回にわたってのべ155世帯の消毒を実施

被害額

土木関係3億3千万

農業は3億6百万円

九日午後五時現在で町がまとめた町内の被害状況は、金額にして六億八千九百万円の巨額に上り、これはその後の調査でさらに増え、十六日現在で七億五千九百万円に達する見込みになりました。

最も被害が大きかったのは国道と町道、河川の堤防や護岸決壊などの土木関係費で三億二千六百万円にのぼっています。

被害概要一覧 (50.8.16現在)		単位千円
◎ 総額	759,349	
I 土木施設	326,815	
1、国道5件	18,000	
2、県道13件	15,000	
3、河川7河川	249,880	
小計	282,880	
4、町道26件	21,635	
5、同橋梁2橋	14,000	
6、河川4河川	8,300	
小計	43,945	
II 農地農業用施設	306,210	
1、農地44件	30,630	
2、農業用施設	125,780	
イ、水路51件	22,180	
ロ、頭首工22件	22,330	
ハ、溜池1件	750	
ニ、農道(橋)36件	54,320	
ホ、揚水機3件	1,200	
ヘ、牧道7件	1,600	
2-1、同上小規模災害	24,000	
3、農産物被害	149,800	
III 林地林業用施設	88,354	
1、林地・作業道	25,220	
2、林産物被害	8,094	
3、林地30件	55,040	
IV 家屋	11,320	
1、住家80戸	9,440	
2、非住家47棟	1,880	
V 水道施設	1,000	
VI 教育施設	150	
VII 国土保全	25,500	

交通確保に全力投入

四日間三位一体で

民生関係の対策とともに、道路交通対策にも減水状況をしながらすばやく対応し、交通不能状態を最少期間で解消させました。

すなわち国道の陥没による不通に對しては、県と連絡を取り用地の交渉を行って直ちに路肩を拡幅させ、県道橋瀬・横渡線および老方・沼館線、玉米・矢島線、あるいは基幹林道軽井沢線や町道各路線に借り上げによる建設機械を投入して不通箇所の復旧に全力であたりました。

業者の積極協力に感謝

全町一致で被害最少限に

水害対策本部の対応が進められる一方で、七日午後二時には緊急の議会協議会が開かれ、災害規模の情報交換や対策が協議され、より一層の救援対策と行政レベルでの県への対策を要請して行くことが確認されました。

また、浸水家屋の防疫には由利農業共済組合の防除機や職員の協力に負うところが大きかったし、一時は孤立した家屋流失の危険にさらされた寺田部落を始め、土砂崩れで住家が倒壊した祝沢部落、ため池決壊のおそれが出た大台部落、さらには鉄砲水による土石流で耕地の大半に大きな被害を及ぼした大田山部落民など全町民一致の努力が被害を最少限に食い止めたものとも見られています。



応急工事

も直ちに開始された

やまゆり号も活躍

農業施設被害だけでも約百六十カ所(復旧費十百万円以上)におよぶため単年度で全部の復旧は出来ないが、緊急度に応じて措置をして行きたい。

町としては、これまで可能な限りの努力をして来たが、今後も復旧のために最大可能な限りの努力をいたし被災された方々に協力をいたしたいと考えている。

盆休みを返上
復旧策に奔走

町では想像を絶する大規模な災害現場の対応策に盆休みも返上、町長を陣頭に県への働きかけなどに奔走、早期復旧に全力を傾注して来ています。

盆休みを返上
復旧策に奔走

町では想像を絶する大規模な災害現場の対応策に盆休みも返上、町長を陣頭に県への働きかけなどに奔走、早期復旧に全力を傾注して来ています。



50.8.7水害における町長談話

復旧に最大の努力

は農林省とそれぞれ災害査定をうけて復旧に当たることが、異例なこととして査定期日を繰り上げて九月一日には、太田向橋は十数カ所の緊急査定が行われることになった。

町では想像を絶する大規模な災害現場の対応策に盆休みも返上、町長を陣頭に県への働きかけなどに奔走、早期復旧に全力を傾注して来ています。

町では想像を絶する大規模な災害現場の対応策に盆休みも返上、町長を陣頭に県への働きかけなどに奔走、早期復旧に全力を傾注して来ています。

八月七日の水害で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。町では災害の発生と同時に今日まで全力をあげ可能な限りの対応をして来ましたが今後でもできるだけの努力を続けて行きます。各位におかれましても鋭意その復旧に立ち上がられるようお願いいたします。次に小松町長の談話を掲載します。

八月七日午前七時、水害対策本部を設けて対策に当たった。国道一〇七号線は道路損壊二、斜面崩壊一、路面冠水三箇所及び交通が不能となった。

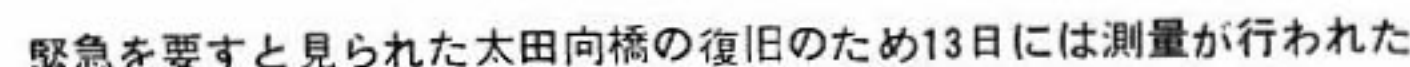
家屋の浸水を始め道路の損壊も県道・町道・林道を問わず各所で発生、農地・農業施設の被災状況も次第に判明して来た。

当日午後二時より議会協



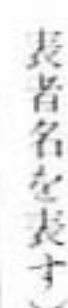
対策本部の看板を書く町長

農道橋な
ど15力所
復旧促進に
朗報



要設計が採択され
ると補助や起債の
確実な見通しがつ
くことになり、直
ちに本設計が行わ
れ復旧事業への着
工ができるという
朗報が聞かれるこ
とになります。

【農道橋】①畠
谷地7 ②畠山秀
夫。③船尻14 ④畠山菊男。
⑤堂尻8 ⑥鈴木博昭。⑦
水上尻12 ⑧鈴木藤三郎。⑨
大畑13 ⑩鈴木実。⑪太田向29
⑫伊東巳之松。⑬寺晶6 ⑭
高橋仁。⑮赤倉9 ⑯須
郷尻6 ⑰高橋駒蔵。【農道
】⑱祝沢28 ⑲小野喜一。⑳
同81 ㉑小笠原清一郎。㉒館
ノ下36 ㉓小野要造。【水路
】㉔下吹58 ㉕畑山寅松。㉖
日照坂38 ㉗畠山久八。【頭
首工】㉘袖山8 ㉙佐藤清一
(番号)ごとに場所・規模・代



笹山代議士（右）に復旧策を要請する町長

50.8.7. 水害の特徴

「同の水害に空前の大被害と言われる昭和二十一年の場合と条件がきわめて似かよっていると言われますが、その第一点は土地が飽和状態に湿潤、河川が増水していたところへ集中的な豪雨に見舞われたこととす。」

昭和二十二年は長雨、今回
は前日の豪雨、と条件成立の
過程は違ふものの結果的には
ほぼ一致していたと言えま
す。

第二点は河川の増水量とは
い簾の規模であり、多少の地
域差はあるものの蔵地区では
床上浸水の高さが二十二年を
上まわり、田代地区より上流
では逆に少なくなっています
被害の規模では、橋梁の大
半が永久橋に改良されたこと
もあり、昭和二十二年時より
流失数は大幅に減少している
ものの、沼・杉森・高屋・須
郷・大吹川・袖山の町南西部
一帯から茂沢・高村の町北東
部一帯にかけて、鉄砲水によ
ると見られる土石流や土砂崩
れによる道路の損壊、耕地の
流失や埋没などの大きな被害
が出ています。

役立った八塩ダム

橋梁の永久化による流失の
回避とともに、今回大きな防
災上の役割を果たしたのが八
塩ダムです。

渇水期が続き水面が下がっ
ていたことも幸いましたが一
分水嶺を境に西側の大吹川地

区では橋梁や耕地の流出、埋没あるいは土砂崩れで大きな被害が発生、ダムのある東側の石高川一帯にはめばしい被害の発生が回避されました。

このことは、山麓一帯の雨水を渇水期の八塩ダムが一手に貯水したところによるもので、余水吐きから水が流れ出したのは下流河川が減水した午前十時頃からと言われ、一般河川での増水開始時刻からは実に七時間後となっています。

さらに幸いだったことは、二十二年水害時の雨域が本町を始め石沢川上流の羽後町仙道、田代地区が中心と見られたのに対し、今回はこれら上流地域が豪雨の中心から離れたため、河川の増水が急だった割に減水も早く、被害を最少限に食い止められたことです。

…多くの教訓も…

今回の集中豪雨は①百ミリを超す雨量があったら警戒を必要。②ため池や八塩ダムなど日常の管理が極めて大切。③常に崖や山崩れに備えた観察を怠らない。など多くの教訓も与えています。

老方クラブ優勝、通算7度目

前年度に決勝進出を果たしたワインズが宿との緒戦で姿を消すという番狂わしもありました。一方、宿対法内フラワー・キビと礼儀正しく、高校野球に見るようなさわやかなゲームを展開して来た法内フラワー・キビとチームワークの良さをそのまま発揮、前年度準優勝のワインズ

八月十六日から三日間にわたり史上最多の二十三チームが参加した熱戦が展開された第十七回東山利町社会人野球大会は大観衆の声援をうけ、苦しいゲームを続けながらも老方クラブが連続五回目（通算七度目）の優勝を飾って幕を閉じました。

にも青年チームらしいキビキビした動作に盛んな拍手や声援が

小松十合会長から表彰をうける老方クラブ



小松大会会長から表彰を受ける老方クラブ

四回両軍無得点、五回表試合巧者老方クが四戦連投、疲労の極限に近い法内フの投手をうち込み、四球やミスを誘発させ一挙に四点をものにし、五―三と逆転、投手を交替し善戦しながら反撃に出た法内フを押えて逃げ切り、結局通算七度目の覇権を手にしめた。

十七回という歴史が物語るように盆中の一大町民行事としてすっかり定着した町野球協会（小松民三郎会長）主催の社会人野球大会は、今後ますます充実、発展して行くものと見られています。

閉会式にあたり渡辺幸夫審判長が「破れたりとは言ふ高校野球のように礼儀正しくキビギミした法内フの健闘は称えも称えも称えきれない」と講評、技術もさることながら各チームがマナーに秀いでることを暗に訴えていました。

「交通安全」願いを込め、

園児ら折

みどり保育園（荏野慶治園長、園児63名）の園児たちは、八月一日から始まった夏の交通安全運動期間中、数回にわたって自由遊びの時間などに折った折紙など約五百個のマスコットを母親らとともに園にプレゼントして事故防止を呼びかけました。

本庄警察署員や町交通指導隊員らの指示により停止した車へかけより「安全運転してください！」などと、かわいいうで呼びかけ、事故防止をお願いを込めたマスコットを差し出すと、一瞬げんな表情を見せて停止したドライバーたちも顔をほころばせ受けとっていました。

園児たちが折った折り紙

りヅル贈る

などのマスコットのの一つ一つには、同園保母や同交通安全会（佐藤良子会長）会員らによって書かれた「酒を飲んだら運転しないでネ！」などの短ざくが下げられ、町内外の人たちの関心を集めました。

園児たちがマスコットのプレゼントを始めてから数日後、隣町の羽後町や雄物川町のライベールから、みどり保育園にお礼や激励の手紙が寄られるなど予想外に反響も大きく、園児や母親たちは事故防止への決意を新たにしてます。

町社協に善意の寄金

佐々木伯漢さん（大塚）

宿地区の六人をむ「石沢若い民

も寄せているのはか、由利高校民謡クラブ員らとともに老人福祉施設の慰問などボランティア活動も続けていると言われその活躍が高く評価されています。

ありがとうございます。

青少年の理想像を主題に

作文、論文募集

青少年育成国民会議が主催し総理府および日本新聞協会・日本放送協会等が後援して決により作文や論文を募集しています。

【作文の部】 50年11月30日現在満十六歳未満の者。題名は「わたし（ぼく）のお父さん」「あるいは「お母さん」。

四百字詰原稿用紙五枚以内。

【論文の部】 満二十六歳未満の者。題名「これからの日本と青年の役割」。四百字詰原稿用紙十枚以内。

【応募のきまり】 ①一人一

新趣向いれ花火大会

蔵新田親子会

親の会など部落挙げてのようした催しは、"楽しいふるさと"の思い出を子どもたち植えつけるかけがえのない契機にもなると見られ、関係面から関心が寄せられていた。



親子でマスコットを贈る園児たち

む「石沢若い民の会」では、本市教育委員会等後援をうけ、さき本荘市文化会館で開催したチャリイショウ「若い謡の祭典」の収金の一部として万円を、この町社会福祉協議に寄せ、感謝しています。

昭和四十五年結成、十八人を

に限る。②作品はたて書きペンか万年筆を使用。③住所・氏名・生年月日・職業および勤務先（学校名、学年）を作品の頭初に記入のこと。④作品は自作のもので未発表ものであること。

【応募先】 東京都渋谷区代木神園町三一。社団法人少年育成国民会議。

【締切】 50年11月30日（当消印有効）

【入賞発表】 審査委員会にて定、一月十五日に発表。

通算される年金制度

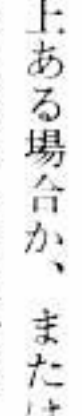
国民年金や厚生年金などの公的年金は現在八種類あり、職業によって加入する制度が異っているため、職業がかわるたびに新たな制度へ移ることが多くなっています。

つこの年金制度で必要期間を満たせない場合も多くなっています。

ところが、これらの公的年金制度は、それぞれの制度の加入期間を合算して必要な期間に達していれば「通算老令

（）の加入期間と合算して二十年以上ある場合か、または国民年金と合算して二十五年以上のときは、通算老令年金が受給できることとなります。

受給は厚生年金など国



は役場年金係へ問合わせ
ようのぞまれています。

年金通信

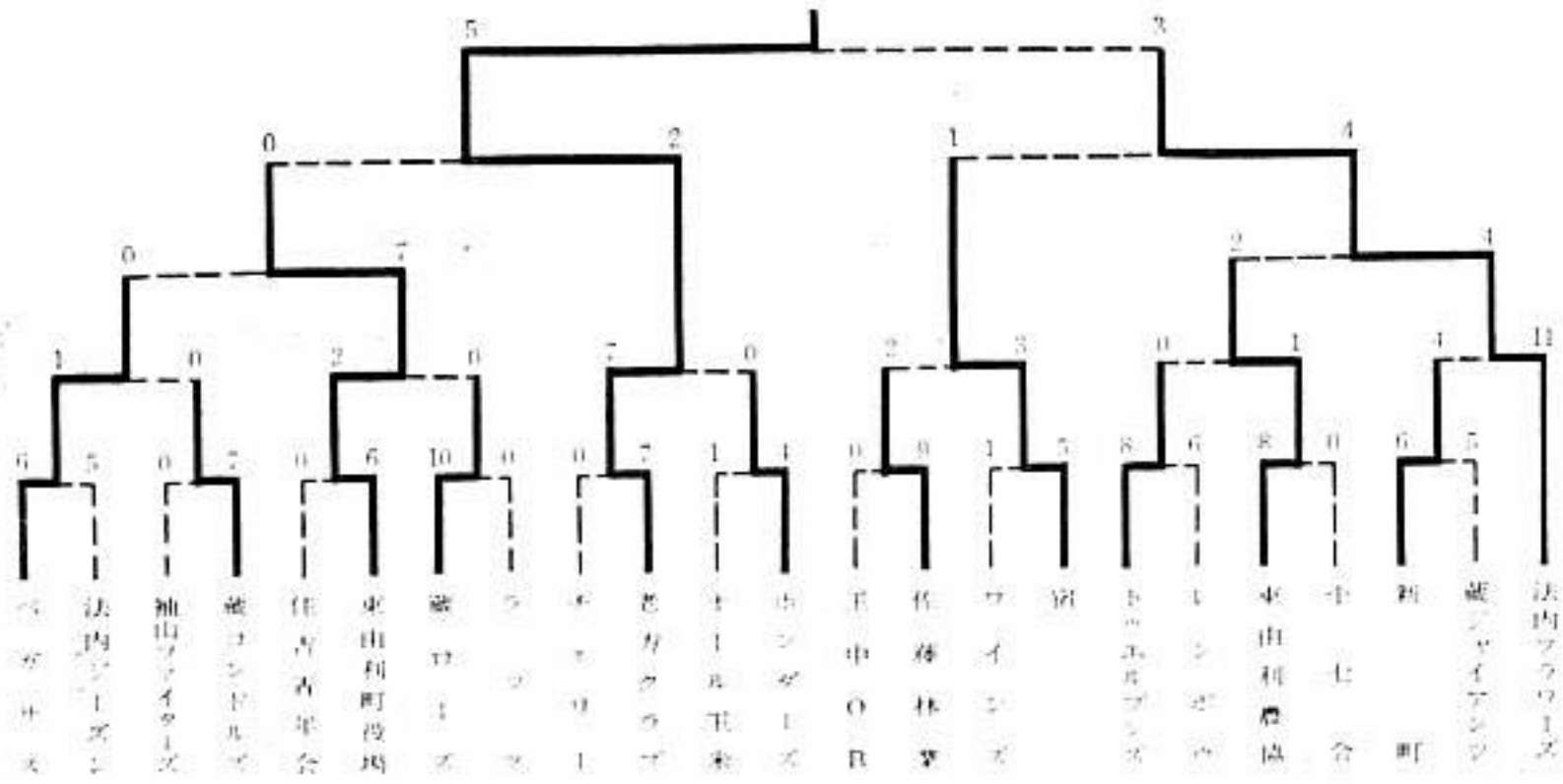
老令年金を受け
るためにはふつ
う二十年から二
十五年間の加入
期間と保険料の
納付のあ
ることが原則とな
っていますが、前
述の事情により一
期間となっています。

年金”として、それぞれの加
入期間に応じて年金が受給で
きるようになっていきます。

通算の対象となるのは原則
として一つの年金制度につき
一年以上の場合で、然も昭和
三十六年四月一日以降の加入
期間となっています。



第17回町社会人野球大会戦績一覧



キノコ採りの行楽期です

“山の遭難”防止を

本格的な秋の行楽シーズンを迎えますが、毎年この時期に交通事故やキノコ採りの遭難事故が発生しています。

特にキノコ採りは単独で深山に入らないように注意すると共に、軽装ででかけたり帰りが遅くならないよう町民みんなが注意、遭難事故を防止しましょう。

子どもたちが夢を託して描いた約三十個の絵灯ろうに灯が点されると、会場に集った親子ら約三百人は幻想の世界

東由利町 水 害 一 覧 表 (50.8.16 現在)

I 土 木 施 設
1、国・県道、河川

整理番号	路 線 名 (河 川 名)	被害箇所	種 別	被 害 概 況 規 模、数 量 等
(県)1	国道 107号線	板 戸	路肩決壊	L=20.0 (m)
2	〃	蔵	決 壊	L=80.0
3	〃	横 渡	路肩決壊	L=30.0
4	〃	〃	法 崩 壊	L=30.0
5	〃	舟 木	路肩決壊	L=15.0
	計	5		
(県)6	羽後向田館合線	亀 島	路肩決壊	L=10.0
7	〃	〃	法 崩 落	L=28.0
8	〃	向 田	路面災	
9	山崎、鴻巣、 十文字線	柴 倉	山腹崩壊	L=25.0
10	〃	松 沢	路肩決壊	L=10.0
11	〃	〃	法 決 壊	L=10.0
12	老方、沼館線	トンネル	土砂崩れ	
13	〃	祝 沢	法 決 壊	L=20.0
14	〃	〃	〃	L=40.0
15	〃	寺 田	路肩決壊	L=10.0
16	神岡、坂部、横渡線	中ノ沢	〃	L=10.0
17	橋刈、横渡線	黒 沢	土 砂 崩	L=20.0
18	〃	大 台	路肩決壊	L=10.0
	計	13		
(県)19	一般河川 石沢川	11箇所	延 長	670.0(m) 細部調査中
20	新沢川	8 〃	〃	121.5 〃
21	松沢川	7 〃	〃	123.0 〃
22	祝沢川	16 〃	〃	194.0 〃
23	法内川	14 〃	〃	357.0 〃
24	大吹川	50 〃	〃	800.0 〃
25	杉森川	14 〃	〃	448.0 〃
	計 (7河川)	120箇所		

2、町道・河川

整理番号	路 線 名 (河 川 名)	被害箇所	種 別	被 害 概 況 規 模、数 量 等
(土)1	八 塩 線	朴ノ木沢	路肩決壊	L=22.0 H= 2.5 (m)
2	熊 高 沢 線	熊 高 沢	法面崩れ	L= 8.0 H= 2.4
3	笹 山 線	笹 山	土砂崩れ	L=20.0 H= 4.0
4	新 沢 線	新 沢	路肩決壊	L=18.0 H= 4.5
5	〃	荒 沢	〃	L=12.0 H= 3.0
6	〃	新 沢	土砂崩れ	L= 8.0
7	〃	〃	〃	L=10.0
8	大 台 線	館合大台	路肩決壊	L=15.0
9	冷 沢 線	冷 沢	〃	L=20.0 H= 1.5
10	茂 沢 線	大 場 台	〃	L=40.0 H= 3.5
11	中 祝 沢 線	中 祝 沢	〃	L=20.0
12	蒲 台 線	祝 沢	山腹崩壊	L=10.0
13	湯 出 野 線	湯 出 野	路肩決壊	L=20.0 H= 3.0
14	日 照 坂 線	日 照 坂	〃	L= 8.0 H= 2.5
15	石 滝 線	石 滝	〃	L=10.0 H= 3.0
16	〃	〃	山腹決壊	L=10.0
17	桧ノ沢線	桧ノ沢	路肩決壊	L=10.0
18	〃	〃	〃	L= 8.0
19	〃	〃	〃	L= 8.0
20	高 村 線	樽 水	〃	L=12.0
21	ザッコ又線	平 石	〃	L=12.0
22	宮ノ下線	宮ノ下	〃	L= 5.0 H= 2.0

整理番号	路 線 名 (河 川 名)	被害箇所	種 別	被 害 概 況 規 模、数 量 等
(土)23	宮ノ下線	宮ノ下	路肩決壊	L= 5.0 H= 2.0 (m)
24	石 塚 線	石 塚	路肩決壊	L=15.0 H= 3.0
25	金 山 線	中 新 田	〃	L=20.0 H= 4.0
26	〃	杉 森	〃	L=10.0 H= 5.0
	計	26		
(土)27	久 保 橋	久 保	一部流失	L=18.0
28	五 兵 衛 橋	〃	流 失	L= 8.0
	計	2		
(土)29	普通河川 板 戸 川			L=32.0
30	〃			L=30.0
31	牧 山 川			L= 200.0
32	〃			L=30.0 L=16.0
33	黒 沢 川			L= 300.0
34	土 場 沢 川			L= 300.0
	計	4河川		

II 農地・農業用施設
1 農 地

整理番号	地区名	関 係 者 代 表 者 名	被 害 施設名	被 害 概 況 種別、規模、数量等
(農)1	ウリ平	村上作蔵	2 水 田	埋没10a 畦畔5ヶ処24.4m 水路決壊2ヶ所L=51.4m
2	金森沢	横 山 隆 一	1 〃	埋没3a 畦畔L=53m
3	〃	小 松 松治郎	2 〃	流失7a 護岸決壊3ヶ処 110m
4	岩井戸	鞆 崎 芳 造	1 〃	埋没3ヶ処 1.5a 畦畔決壊3ヶ処 21m
5	老 方	佐 藤 勝	〃	埋没1a 決壊L=35m
6	〃	畠 山 勝 郎	〃	埋没10a 深さ45cm
7	寺 田	小 野 要 蔵	1 〃	〃 30a 〃 20cm
8	真木田	小 松 勘一郎	1 〃	〃 5a 堤防決壊による
9	高 村	伊 東 茂	〃	堤防決壊19.5m
10	小 倉	阿 部 精 幸	1 〃	埋没0.13a
11	〃	遠 藤 司 郎	〃	堤防 32m
12	〃	遠 藤 平 輔	〃	〃 31.0m
13	杉 森	阿 部 与 吉	〃	〃 32.5m
14	土場沢	畑 山 藤 作	1 〃	埋没1a がけ崩れL=52m
15	〃	小笠原 謙 一	1 〃	護岸(水田のり)決壊L=25m H= 2m
16	〃	〃	1 〃	護岸(水田のり)決壊 L=30m
17	土場沢	畑 山 作左エ門	1 〃	岸(水田のり)決壊 L=12m
18	上川原	佐々木 寿 一	1 〃	埋没20a 深さ 0.5m 堤防決壊による
19	杉ノ崎	小 野 聚 一	1 〃	埋没 0.5m 堤防決壊88m
20	上 沼	鈴 木 正 夫	1 〃	畦畔流失水田埋没25a
21	〃	鈴 木 茂	1 〃	埋没8a
22	〃	鈴 木 憲 雄	1 〃	畦畔流失水田埋没50a
23	〃	鈴 木 孝 弥	1 〃	埋没7a
24	西ノ股	阿 部 真一郎	1 〃	埋没3a(鈴木茂開田の畦畔決壊のため)
25	須 郷	高 橋 駒 蔵	1 〃	埋没 L=78m 決壊 L=47m 水路 L=45m ほか
26	〃	〃	1 〃	堤防決壊 L=108.5m H= 2.0m W=3.0 m
27	〃	高 橋 仁	1 〃	堤防 0.3ha 堤防L= 2.0m H= 1.4m
28	〃	武 田 繁 政	1 〃	堤防決壊 L=25m H=5.0 m w=3.0 m
29	〃	高 橋 駒 蔵	1 〃	L=13m H=4.5 m W=7.0 m
30	〃	武 田 繁 政	1 〃	L=28m H=4.5 m W=7.0 m
31	〃	高 橋 仁	1 〃	L=15m H=2.2 m W=2.0 m
32	〃	〃	1 〃	L=25m H=2.4 m W=2.5 m
33	〃	武 田 繁 政	1 〃	L=25m H=4.0 m W=2.0 m
34	〃	高 橋 仁	1 〃	L=19m H=2.0 m W=2.0 m
35	〃	〃	1 〃	L=10m H=4.0 m W=5.6 m
36	袖 山	畠 山 淳 悦	1 〃	埋没20a
37	舟打場	鈴 木 善一郎	1 〃	埋没 0.5ha 深さ 0.5m
38	笹 倉	畠 山 玉 治	1 〃	〃 土砂利深さ 0.5m
39	〃	畠 山 広 正	1 〃	〃 0.15ha (砂利)
40	大吹川	畠 山 菊 男	1 〃	〃 深さ 0.3m 堤防決壊両岸 L= 150m W= 3.5m

整理番号	地区名	関 係 者 代 表 者 名	被 害 施設名	被 害 概 況 種別、規模、数量等
(農)41	六郎沢	畠 山 菊 男	1 〃	決壊L=32m L=13.5m W=4m W=7m
42	横 渡	小 野 茂 二	1 〃	堤防決壊 埋没4a
43	高 屋	小 野 吉 男	1 〃	決壊 10a
44	横 山	高 橋 養 一	3 〃	埋没6a
		計		(44件)

2 農業用施設

整理番号	地区名	関 係 者 代 表 者 名	被 害 施設名	被 害 概 況 種別、規模、数量等
(農)45	智者鶏	横 山 昌 夫	11 水 路	コンクリート水路10m決壊地面地すべり
46	片存沢	渡 辺 忠之助	11 〃	流失2ヶ処 L=4.3 m 3.5 m
47	田 代	渡 辺 茂一郎	22 〃	決壊2ヶ処 L=6.0 m 8.2 m
48	西ノ沢	佐 藤 忠治郎	30 〃	決壊 5.5m
49	仁賀餅	長谷山 千代三	5 〃	4ヶ処 35m
50	館 合	土地改良区	32 〃	決壊L=10.5m W=0.5 m
51	柴 倉	小 松 一 正	〃	〃 L=12.0m H=3.0 m
52	〃	小 松 安 雄	3 〃	〃 L=80.0m W=0.3 m
53	松 沢	小 松 与惣雄	〃	〃 6ヶ処 70m
54	冷 沢	小 松 薫	3 〃	決壊2ヶ処23m (L=20m L=3.0m)
55	祝 沢	遠 藤 忠 蔵	〃	決壊 L=13m
56	老 方	小 野 喜 一	〃	〃 20m
57	〃	畠 山 久 八	〃	〃 17m 土流25m
58	〃	小 野 政 治	1 〃	〃 L=36m W=1.0 m
59	〃	畠 山 勝 郎	〃	埋没 L=88.5m W=80.0cm
60	上 里	小 野 佐 一	15 〃	決壊3ヶ処 床面地割6m 砂利埋没80m
61	真木田	千 葉 欽 一	20 〃	埋没L=65m W=1.5 m
62	小 倉	遠 藤 文 吉	〃	決壊8.5 m
63	〃	阿 部 誠 一	〃	〃 23.0m
64	〃	遠 藤 春 雄	〃	〃 11.0m
65	〃	阿 部 重 一	〃	〃 34.0m
66	〃	遠 藤 司 郎	〃	頭首工取水口より下流
67	〃	遠 藤 春 雄	3 〃	決壊19m
68	桂 台	遠 藤 慶之助	〃	〃 19m
69	十二の前	阿 部 竹 三	〃	〃 16m
70	舟 木	大 庭 初 蔵	〃	〃 35m
71	杉 森	阿 部 芳 盛	〃	
72	高 屋	小 野 武	〃	決壊30m
73	大 琴	畑 山 敏	2 〃	決壊埋没 142m
74	土場沢	小笠原 藤 一	2 〃	決壊L=10m H= 3 m
75	〃	小笠原 謙 一	2 〃	〃 L=12m W=0.3 m
76	〃	〃	6 〃	〃 L=16m W=0.4 m
77	土場沢	小笠原 謙 一	5 〃	〃 L=35m W=0.3 m
78	下 吹	畑 山 寅 松	〃	〃 3ヶ処 96m
79	上 沼	鈴 木 茂	〃	〃 7ヶ処 50m
80	須 郷	高 橋 仁	3 〃	山崩れ25m H=2.6 m 水路10m
81	〃	高 橋 駒 蔵	6 〃	決壊 L=11.0m H=1.2 m W=0.6 m
82	〃	武 田 繁 政	2 〃	水路 L=18m W=2 m 堤防 L=10m W=5.6 m
83	〃	高 橋 末治郎	3 〃	決壊L=20m H=0.6 m
84	〃	高 橋 喜久男	5 〃	〃 L=86m H=2.0 m
85	袖 山	畠 山 俊 哉	7 〃	〃 L=40m H=11m
86	笹 倉	佐 藤 鶴 松	3 〃	決壊 L=15.8m W=2.0 m H=10.0m
87	大吹川	佐 藤 治 雄	6 〃	埋没 L=15m W=7 m
88	笹 倉	佐 藤 鶴 松	3 〃	決壊 15m
89	大吹川	佐 藤 公 一	3 〃	〃 L=18m
90	〃	〃	4 〃	〃 L=10m H=3.0 m
91	〃	〃	2 〃	〃 L=20m H=3.0 m
92	〃	〃	2 〃	〃 L=10m H=2.6 m
93	〃	〃	3 〃	〃 L=20m H=3.0 m
94	〃	〃	3 〃	〃 L=15.0m H=3.0 m
95	〃	〃	6 〃	〃 L=35.0m
		計		(51件)
(農)96	館 合	菊 地 与治郎	30 頭首工	決壊L=9 m H=3.8m
97	大 上	大 場 六治郎	1 〃	石積工流失 5.2 m 水路埋没17m
98	板戸口	下 田 三太郎	1 〃	石積工流失 5.8 m 水路決壊7.0 m
99	老 方	遠 藤 盛 蔵	〃	
100	町ノ田	佐 藤 根 二	〃	流失L=7.0 m H=4.0 m
101	宮ノ前	小 松 勘 三	20 〃	
102	小 倉	遠 藤 松 志	〃	流失6.0 m 水路9.0 m
103	十二の前	阿 部 久 盛	〃	流失4.0 m 水路10.0m
104	杉 森	高 橋 慶之助	〃	流失11.5m
105	高 屋	佐 藤 一 三	2 〃	〃 W=7.0 m H=3.0 m

整理番号	地区名	関 係 者 代 表 者 名	被 害 施設名	被 害 概 況 種別、規模、数量等
(農)106	〃	小 野 富 勝	2 〃	〃 W=6.0 m H=1.2 m
107	〃	佐 藤 勇 雄	2 〃	流失W=6.0 m H=1.0 m 水路0.5 m
108	土場沢	畑 山 藤 作	3 〃	流失木道 W=4.0 m H=3.0 m
109	〃	小笠原 謙 一	6 〃	〃 W=5.0 m H=1.0 m
110	〃	畑 山 作左エ門	2 〃	〃 W=5.0 m
111	〃	小 野 義 次	2 〃	〃 W=5.0 m
112	須 郷	高 橋 駒 蔵	2 〃	流失 L=4.0 m W=0.6 m
113	〃	武 田 繁 政	2 〃	〃 L=5.6 H=0.7 水路 L=18 H=0.7
114	〃	高 橋 喜久男	6 〃	流失 L=4.2 m H=2.2 m
115	袖 山	佐 藤 清 一	6 〃	〃 L=7.0 m W=0.7 m 水路 L=4.0 m W=0.6 m
116	〃	畠 山 淳 悦	7 〃	流失 L=7.6 m W=1.2 m
117	〃	畠 山 貞一郎	9 〃	〃 L=5.8 m H=0.8 m
		計	(22件)	
(農)118	高 村	伊 東 万 吉	溜 池	堤防決壊16.0m
		計	(1件)	
(農)119	岩井戸	村 上 耕一郎	5 農道ほか	道決壊 L=2.3 m 橋流失外 L=8.0 m
120	柴 倉	小 松 一 正	2 橋	木橋流失 L=12 W=1.5
121	老 方	遠 藤 盛 蔵	道	道決壊L=20.0 W=3.0 田埋没1a
122	〃	小 野 寅 松	〃	道決壊L=21.0 W=2.0
123	〃	小笠原 清一郎	〃	〃 L=13.0 W=2.5 H=1.5
124	〃	小 野 寅 松	〃 〃	道 L=89m W=2.5 m 橋 (2) L=9.3 m
125	〃	遠 藤 盛 蔵	4 〃	道決壊 L=21.0 H=1.2
126	〃	小 野 作 美	〃	〃 L=23.0 W=2.0
127	〃	畠 山 東一郎	〃	道流失 L= 295.3 W=3.0
128	日照坂	小 野 作 美	4 〃	橋流失 L=8.0 W=2.6
129	寺 田		〃	道決壊 L=6.7 W=2.0
130	〃	佐 藤 鉄 雄	〃	橋流失 L=12.0 W=2.0
131	田子の沢		5 〃	道、土砂堆積
132	横 渡		〃	橋流失 L=30.0 W=2.5
133	高 村	工 藤 好 男	〃	〃 〃 L=6.5
134	小 倉	遠 藤 貞 次	〃	〃 〃 L=10.0
135	新 処	工 藤 三三雄	3 〃	橋決壊 8.0
136	大 琴	梅 津 栄 一	〃	道決壊 16.5
137	畑 村	小 松 作一郎	〃	橋流失 L=10.5 W=2.2
138	土 屋	小 野 長 栄	〃	道 土砂くずれ 170.0
139	土場沢	畑 山 忠 己	2 〃	崖崩農道埋没 L=54.0 W=3.0
140	土造台	長谷山 二 郎	〃	道決壊 (2ヶ処) 15.0
141	沼	鈴 木 孝 弥	3 〃	木橋流失 L=7.0 W=2.0
142	須 郷	高 橋 駒 蔵	1 〃	道決壊40.0 水田決壊 L=88.0 H=3.0
143	〃	高 橋 仁	2 〃	橋流失 L=8.0 H=4.0 W=2.5
144	〃	高 橋 駒 蔵	2 〃	永久橋流失 H=2.5 W=3.0
145	袖 山	畠 山 秀 夫	1 〃	橋流失 L=10.0 H=2.0
146	舟打場	鈴 木 博 昭	3 〃	橋流失 L=6.0 H=2.4 W=2.5

3 農 産 物 被 害		
区 分	種 別	被 害 面 積
水 田	流 失、埋 没	27 ha
	冠 水	175 ha
計		202 ha

Ⅲ 林地・林業用施設

1 林産物等被害

地区		被 害 面 積 (ha)		
		公 有 林	私 有 林	計
黒 濁		0.35	2.77	3.12
田 代		2.00	0.67	2.67
館 合		0.51	0.11	0.62
老 方		0.45	0.28	0.73
蔵		0.26	1.05	1.31
法 内		—	1.05	1.05
宿		0.44	0.60	1.04
杉 森		0.51	1.40	1.91
計		4.52	7.93	12.45

2 林 地、作業道

地 区 名 等	被 害 概 況
沼 山	地すべり 0.7 ha (公社造林契約地)
倉地区 外 3箇所	林地崩落 (1箇所平均10m)
仲ノ沢 簡易作業道	地すべり L＝49.0m W＝3.0 m
計	

3 林 道

整理番号	路 線 名 (河 川 名)	被害箇所	被 害 概 況
種 別	種 別	規模、数量等	
(林)1	善 徳 林 道		土砂崩れ L＝20.0 (m)
＊2	坪 倉 林 道	新 田	路肩決壊 L＝15.0 H＝3.0
＊3	＊	坪 倉	土砂崩れ L＝20.0
＊4	深 沢 林 道		路面災害 L＝40.0
＊5	牧 山 林 道		山腹崩壊 L＝30.0
＊6	＊		路床洗堀 L＝150.0
＊7	蛭 井 沢 林 道	巾 野	土砂崩れ
＊8	＊	六 郎 沢	土砂崩れ L＝20.0 H＝2.5
＊9	＊	＊	路肩決壊 L＝21.0 H＝2.0
＊10	＊	＊	土砂崩れ L＝11.0 H＝2.5
＊11	＊	大 吹 川	路肩決壊 L＝11.0 H＝2.5
＊12	＊	＊	＊ L＝13.0 H＝4.0
＊13	＊	＊	＊ L＝46.0 H＝2.7
＊14	＊	＊	＊ L＝15.0 H＝5.0
＊15	＊	桃 台	法面崩壊 L＝200.0
＊16	＊	＊	＊ L＝100.0
＊17	大 吹 川 林 道		土砂崩れ L＝20.0
＊18	＊	＊	＊ L＝20.0
＊19	＊	＊	＊ L＝20.0
＊20	土 場 沢 林 道	湯ノ沢	土砂崩れ L＝38.0
＊21	＊	土 場 沢	＊ L＝9.0
＊22	＊	高 屋	＊ L＝16.0
＊23	＊	名 古	＊ L＝10.0
＊24	＊	＊	土砂崩れ L＝22.0 H＝2.0 路肩決壊 L＝37.0 H＝3.0 路面決壊 L＝11.0 H＝5.0
＊25	＊	高 屋	コルゲード橋 導水
＊26	金 山 林 道	沼	法面崩落 L＝26.0
＊27	＊	＊	決 壊 L＝21.0
＊28	＊	悪 土 沢	土砂崩れ L＝15.0
＊29	沼 林 道	沼	路肩決壊 L＝10.0 L＝8.0
計		29	
(林)30	笹倉林道6号橋		流 失 L＝6.7
計		1	



土砂に埋没した水田で流木の除去にあたる袖山部落の人たち。(舟打場地区で)



本部長(町長)を中心に堅い表情で情報交換と善後策を協議する人たち。(役場、災害対策本部で)

Ⅳ 家 屋

	倒壊	浸 水		計	被 害 概 況
		床 上	床 下		
住 家 戸 数	1戸	12戸	67戸	80戸	倒壊 8戸 3人 床上浸水 42人 床下浸水 353人 398人
非住家 棟 数	2棟	23棟	22棟	47棟	
計 戸棟数	3	35	89	127	

Ⅴ 水道施設

施 設 名	被 害 概 況
簡易水道 東由利	牧山水源地 導水管流失 構造物埋没
＊ 館 合	水 源 地 構造物埋没 道路損傷
計	2 件

Ⅵ 教育施設

施 設 名	被 害 概 況
宿 小 学 校 グ ラ ン ド	決 壊 18 m ²
計	1 件

Ⅶ 国土保全

被 害 箇 所	被 害 概 況	
	種 別	規 模 数 量 等
石 高	山 腹 崩 壊	L＝12.0m
＊	＊	L＝12.0
大 琴	＊	L＝12.0
大 吹 川	地 す べ り	L＝30.0
袖 山	＊	L＝20.0
黒 濁 (桃台)	＊	L＝40.0
大 落	＊	L＝40.0
計	7 件	



山腹崩落により埋没損壊した水路の復旧に当たる受益者たち。(須郷田ゼキで)



県道老方・沼館線の交通は完全にストップ。孤立した寺田地区を気づかう人たち。(養田橋附近で)



国・県道、町道を問わずこうした道路の損壊は町内随所で発生した。(祝沢地区で)



山崩れにより全壊寸前のかつての住家。(倉地区で、菊地義一さん撮影)

緑の大敵 大発生

今年春、畑村地区などの一部で初発生が確認されたアメリカシロヒトリの幼虫が、八月下旬から再び町内各所で発見され、全町挙げての早期防除がのぞまれている。

緑の大敵として悪名高いアメリカシロヒトリは、戦後アメリカから侵入した害虫といわれ、成虫は白い小さな「ガ」ですがこの幼虫は庭木や街路樹、あるいは果樹など広葉樹に無差別に寄生、大きな被害を与え、なかには繁殖力も旺盛で年二回発生します。

このまま放置すると、来春には町内の緑という緑が全滅させられることも懸念されるため、いまのうちに全町民挙げて発見と防除に取り組みよう強くのぞまれています。

現在、発生が確認されているのは畑村・大琴・老方・館合など主として国道沿いに多く、今月上旬には果アミ(クモの果のような網状)の中に小さな無数の幼虫がかたまっていることが考えられます。

町が別途に配布したパンフレットをよく読んで、アメリカシロヒトリの早期発見と自主防除に立ちあがってください。

ち上つてほしいものです。

果アミ状の幼虫を発見したら枝を切り取り踏みつぶすか焼きすてるのが最も手軽で効果的な防除方法です。

また、高い木で枝が切れないときは、幼虫が大きくなり次第、果アミから出て散らばるので、この時機を見つけて薬剤散布が効果的です。

家や周囲の庭など身近な場所に幼虫がいなく、また、部外者が侵入しないよう、一斉防除や自主防除に切替えることを検討しています。

場所によっては、部外者が侵入しないよう、一斉防除や自主防除に切替えることを検討しています。

発見と共同防除を推進するようお願いします。

敬老会期日及び場所

▼9月6日11時 蔵小学校

蔵地区全域該当者 69名

▼9月8日11時 克雪管理センター 法内地区 40名

▼9月8日13時 大琴会館

宿・杉森地区全域 70名

▼9月11日11時 田代福祉館

田代・黒濁 45名

▼9月13日11時 袖山小学校

袖山小学校通学区 18名

▼9月13日11時 明楽荘

老方地区全域 104名

▼9月14日11時 玉来小学校

館合地区全域 97名

な、今年度の金婚招待者は七十歳以上が九組十八人、

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。

敬老会今年も七会場で金婚招待12組 写真贈呈17人

昭和五十年年度の町敬老会は今度も婦人会員らの接待を中

心は次の日程で町内七会場で開催されます。